

J A遠州夢咲 自己改革工程表

自己改革を実践する3か年計画の中間点

J A遠州夢咲は、組合員・農業・地域・J Aが抱える課題に対し、わたしたちがいま取り組むべき自己改革の施策として、「人」に焦点を当て「生産基盤」「経営基盤」「組織基盤」の強化を目標に3か年計画（令和7年度～令和9年度）を実践しています。

わたしたちは、3か年計画の2年目にあたる令和8年度においても地域の「食と農」を守り、その大切さを伝えるとともに、持続可能な経営基盤の確立・強化を図りながら、組合員との対話を通じた「不断の自己改革」に取り組んでまいります。

自己改革を実践するための具体的な施策

自己改革を実践するため、3か年計画では3年後のめざす姿を3つの目標に分類し、その達成に向け、「人」に焦点をあてた施策に取り組んでいます。令和8年度は3か年計画の2年目として昨年の進捗確認と改善を行い、環境変化や事業の運営状況をふまえて柔軟に対応していきます。

【3か年計画の取り組み目標】

目標Ⅰ 産地維持・拡大に向けた生産基盤の強化

目標Ⅱ 事業環境の変化に対応しうる経営基盤の構築

目標Ⅲ J A運営を支える組織基盤の強化

以下、カッコ内に3か年計画において対応する施策名を記載しています。

1.改革の目的である「農家組合員の所得増大」に向けて取り組みます。

①夢咲アグリグロウアップ事業の有効活用に向けた計画・立案と実施

（目標Ⅰ施策1 生産者組織の「めざす将来像」による農業所得の向上と産地維持）

②営業推進による契約・直接販売の拡大

（目標Ⅰ施策4 総合力を発揮した農業経営の支援）

2.自己改革を支える「持続可能な経営基盤の確保」に向けて取り組みます。

③J A運営における女性参画の推進

（目標Ⅱ施策1 事業運営の最適化に向けた実践）

女性が総代や役員としてJ Aの事業運営に関わることで、従来の考え方にとらわれない多様な価値観をJ A運営に反映し、J A事業の満足度向上や地域の活性化ひいては事業環境の変化に対応しうる経営基盤の構築につながると考えます。

J Aの経営においては、人口減少や物価高騰、自然環境の変化など、現在の農業・J Aが置かれている情勢のなか、事業改革を進めなかった場合の今後5年間の成り行きについてシミュレーションを行ったところ、現状と比べて事業総利益は大幅に減少し事業利益の確保が厳しい見通しです。J A遠州夢咲では、J A経営の損益管理方法について研究を重ねて収支改善に取り組み、健全で持続可能な経営基盤を確保していきます。

3.自己改革に向けて「組合員との対話・意思反映」に取り組めます。

④支店運営委員会が中心となった組合員主体の支店ふれあい活動の実施

（目標Ⅲ施策1 組合員・地域住民の農業・J Aへの理解・共感の醸成）

（目標Ⅲ施策4 支店を核とした組合員組織の活性化と仲間づくり）

自己改革として、3か年計画の実践にあたっては、正組合員との対話に留まらず「正組合員とともに地域農業や地域経済の発展を支える組合員」である准組合員の声を聴くことで、正・准組合員が一体となったJ A運営に努めます。対話の手段として、運営協議会や支店運営委員会を開催し組合員の意見をJ A運営につなげていくほか、組合員世帯への訪問活動や広報モニター・女性部・青年部・総代など各組織等との意見交換会も引き続き行っていきます。

また、准組合員の事業利用にあたっては、正・准組合員の利用状況を把握し、改革の目的である「農業所得の増大」につながるよう取り組みます。

J A 遠州夢咲自己改革工程表（数値編）

1. 農家組合員の所得増大

産地維持・拡大に向けた生産基盤の強化

① 夢咲アグリグロウアップ事業の有効活用に向けた計画・立案と実施

対象者：必要とする全ての生産者		令和7年度 計画		令和8年度 計画
経営支援効果		支援額 2,000万円	実績 1,730万円	2,000万円

② 営業推進による契約・直接販売の拡大

対象者：中核的担い手や多様な担い手		令和7年度			令和8年度
		目標	実績	効果	目標
売上増加効果	1kgあたり 市場単価+5%	契約販売数量 1,550t	1,552t	市場単価 +6%	1,580t

2. 持続可能な経営基盤の確保

JA運営を支える経営基盤の強化

③ JA運営における女性参画の推進

対象者：女性組合員		令和7年度 目標		実績
女性の総代・ 役員の増加効果		女性意見の反映による JA運営の活性化		総代における女性割合 15%以上 17.6%
				令和8年度目標 役員における女性割合 15%以上

3. 組合員との対話・意思反映

JA運営を支える組織基盤の強化

④ 支店運営委員会が中心となった組合員主体の支店ふれあい活動の実施

対象者：組合員・地域住民		令和7年度 目標		実績
支店運営委員会の 実施効果		組合員の意見が反映した 支店運営の実現		支店運営委員会開催回数 各支店6回以上 平均6.3回
				令和8年度目標 支店運営委員会の活動回数 各支店7回以上
対象者：組合員・地域住民		令和7年度 目標		実績
支店ふれあい活動の 実施効果		組合員や地域とJAを つなぐ支店活動の実現		支店ふれあい活動実施回数 各支店1回以上 平均1.8回
				令和8年度目標 支店運営委員会活動の運営に関わった組合員数 120人
対象者：組合員		令和7年度 目標		実績
訪問活動による 組合員との対話		職員の訪問による 組合員との対話の実現		訪問組合員世帯数 12,900世帯 12,900世帯
				令和8年度目標 全職員による組合員宅への訪問回数 月1回